



ページング

- [ページングの概要 \(1 ページ\)](#)
- [ページングの前提条件 \(2 ページ\)](#)
- [Basic Paging の Cisco Unified Communications Manager 設定のタスク フロー \(3 ページ\)](#)
- [Advanced Notification ページングの設定タスク フロー \(15 ページ\)](#)
- [ページングの連携動作 \(24 ページ\)](#)

ページングの概要

Unified Communications Manager は、Cisco Paging Server と連携して、Cisco Unified IP Phone やさまざまなエンドポイントに **Basic Paging** サービスを提供するように設定できます。Cisco Paging Server 製品は、InformaCast 仮想アプライアンスを介して提供され、次の導入オプションを提供します。

InformaCast Basic Paging

InformaCast Basic Paging は、電話機間のライブ オーディオ ポケットベルを個々の Cisco IP 電話または最大 50 台の電話グループに同時に提供します。InformaCast Basic Paging は、すべての Unified Communications Manager ユーザとすべての Cisco Business Edition 6000 および Cisco Business Edition 7000 ユーザに無料で提供されます。

InformaCast Advanced Notification

InformaCast Advanced Notification は、フル装備の緊急通知と、無制限の Cisco IP Phone とテキストおよびオーディオメッセージを使用するさまざまなデバイスやシステムにリーチできるページングソリューションです。

設定プロセスを合理化するため、Unified Communications ManagerCisco Unified Communications ManagerUnified Communications Manager には、高度な通知サービスを迅速に設定できるプロビジョニング ウィザードが付属しています。

次のような機能があります。

- Cisco IP Phone およびその他のエンドポイントへのテキストおよび音声（ライブまたは事前録音）

- アナログおよび IP オーバーヘッド ページング システムの統合
- 911 または緊急通報のモニタリング、アラートまたは録音
- Cisco Jabber の統合
- Cisco Spark の統合
- 自動気象通知
- 動的にトリガーされた緊急電話会議
- 事前に録画またはスケジューリングされたブロードキャスト（始業ベルまたはシフト変更）
- メッセージの確認およびレポートによるイベントのアカウントビリティ
- コンピュータ デスクトップへの通知（Windows および Mac OS）
- 設備の統合（照明の制御、ドアのロック）
- セキュリティの統合（パニック ボタンまたは脅迫状態ボタン、モーション ディテクタ、火事）

InformaCast Advanced Notification 機能にアクセスするためのライセンス キーを購入します。

InformaCast Mobile

InformaCast Mobile は、iOS または Android で動作するモバイル デバイスにユーザが画像、テキスト、および事前に録音された音声を送信することを可能にするクラウドベース サービスです。また、このサービスは、InformaCast Advanced Notification と双方向で統合されます。

次のような機能があります。

- iOS または Android で動作するモバイル デバイスを介して InformaCast メッセージを送受信する機能
- InformaCast Advanced Notification との双方向の統合
- メッセージの確認と開封確認
- 無料の通話または SMS メッセージング

InformaCast Mobile は Singlewire Software から直接購入する必要があります。詳細およびダウンロードについては、Singlewire の Web サイトを参照してください。

すでに InformaCast Advanced Notification と連携するように Unified Communications Manager を設定してある場合は、Unified Communications Manager の追加の設定は不要です。

ページングの前提条件

Cisco Paging Server はマルチキャスト環境で動作するように設計されています。マルチキャスト用にネットワークを設定する必要があります。

ページングをサポートする Cisco Unified IP Phone の一覧については、以下のリンクにある Singlewire の『Compatibility Matrix』の「Cisco Unified IP Phones」のセクションを参照してください。

<http://www.singlewire.com/compatibility-matrix.html>。

Basic Paging の Cisco Unified Communications Manager 設定のタスク フロー

次のタスクを実行して、Unified Communications Manager を InformaCast Basic Paging 展開用に Cisco Paging Server と統合するように設定します。

始める前に

- この機能については、以下を参照してください。
 - [ページングの概要 \(1 ページ\)](#)
 - [InformaCast Basic Paging \(1 ページ\)](#)
- 「[ページングの前提条件 \(2 ページ\)](#)」を確認してください。
- このセクションの設定は、[Advanced Notification ページングの設定タスク フロー](#) ウィザードを使用する場合に自動化されます。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
Step 1	SNMP サービスの有効化 (4 ページ)	Unified Communications Manager で SNMP を設定します。
Step 2	デフォルトコーデック G.711 の設定 (6 ページ)	デフォルトコーデックを G.711 に設定します。
Step 3	ページング用デバイス プールの設定 (7 ページ)	デバイス プールを設定します。
Step 4	InformaCast ページングのルートパーティションの設定 (8 ページ)	Basic Paging のルートパーティションを設定します。
Step 5	InformaCast ページングのコーリングサーチスペースの設定 (8 ページ)	Basic Paging のコーリングサーチスペースを設定します。
Step 6	ページングに対応した CTI ポートの設定 (9 ページ)	CTI ポートを設定します。
Step 7	AXL アクセスを使うアクセスコントロールグループの設定 (10 ページ)	AXL アクセス コントロール グループを設定します。

	コマンドまたはアクション	目的
Step 8	ページングに対応したアプリケーションユーザの設定 (10 ページ)	アプリケーションユーザを設定します。
Step 9	次のいずれかの手順で、電話機の Web アクセスを有効にします。 <ul style="list-style-type: none"> • 電話機での Web アクセス有効化 (11 ページ) • 共通の電話プロファイルでの Web アクセスの有効化 (12 ページ) • エンタープライズ電話の Web アクセス有効化設定 (13 ページ) 	Web アクセスは、エンタープライズ電話の設定を使用してすべての電話機でグローバルに、または共通の電話プロファイルを使用して電話機のグループに、あるいは個々の電話機で有効にできます。
Step 10	認証 URL の設定 (13 ページ)	Unified Communications Manager の認証 URL が InformaCast を指すように設定して、InformaCast が Cisco Unified IP Phone にブロードキャストをプッシュしたときに、その電話が InformaCast で認証されるようにします。

Cisco Unified Communications Manager および Cisco Paging Server の設定手順の詳細については、*InformaCast Virtual Appliance Basic Paging* のインストール/ユーザガイドを参照してください。

ページングに対応した SNMP の設定

クラスタで SNMP サービスを設定するには、次のタスクを実行します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
Step 1	SNMP サービスの有効化 (4 ページ)	クラスタで SNMP その他のサービスを有効にします。
Step 2	InformaCast SNMP コミュニティ文字列の作成 (5 ページ)	SNMP コミュニティ文字列を設定します。

SNMP サービスの有効化

ページングを設定するには、クラスタの各ノードで SNMP を有効にする必要があります。さらに、次のサービスを有効にする必要があります。

- Cisco CallManager SNMP サービス: クラスタ内の全ノードで有効にします。
- Cisco CallManager: 少なくとも 1 つのノードで有効にします。
- Cisco AXL Web サービス: 少なくとも 1 つのノードで有効にします。

- Cisco CTIManager: 少なくとも 1 つのノードで有効にします。

手順

-
- Step 1** [Cisco Unified Serviceability] から選択します。[ツール (Tools)] > [サービス アクティベーション (Service Activation)] を選択します。
- Step 2** [サーバ (Serve)] ドロップダウンリストから、SNMP を設定するサーバを選択します。
- Step 3** [Cisco CallManager SNMP サービス (Cisco CallManager SNMP Service)] に対応するチェックボックスをオンにします。
- Step 4** クラスタ内の少なくとも 1 つのサーバで、[Cisco CallManager] サービス、[Cisco CTIManager] サービス、および [Cisco AXL Web Service] サービスに対応するチェックボックスをオンにします。
- Step 5** [保存 (Save)] をクリックします。
- Step 6** [OK] をクリックします。
- Step 7** クラスタ内の全ノードに対して、これまでの手順を繰り返します。
-

InformaCast SNMP コミュニティ文字列の作成

SNMP コミュニティ文字列を設定するため、Basic Paging するには、次の手順を実行します。

始める前に

[SNMP サービスの有効化 \(4 ページ\)](#)

手順

-
- Step 1** [Cisco Unified Serviceability] から選択します。[SNMP] > [V1/V2c] > [コミュニティ文字列 (Community String)]]。
- Step 2** [サーバ (Servers)] ドロップダウンリストからサーバを選択し、[検索 (Find)] をクリックします。
- Step 3** [新規追加 (Add New)] をクリックします。
- Step 4** [コミュニティ文字列名 (Community String Name)] フィールドに、**ICVA** と入力します。
- Step 5** [アクセス権限 (Access Privileges)] ドロップダウンリストから、[読み取り専用 (ReadOnly)] を選択します。
- Step 6** [すべてのノードに適用 (Apply to All Nodes)] チェックボックスがアクティブな場合、オンにします。
- Step 7** [保存 (Save)] をクリックします。
- Step 8** [OK] をクリックします。
-

次のタスク

[デフォルトコーデック G.711 の設定 \(6 ページ\)](#)

ページングの地域の設定

Basic Paging の場合、ページングの導入には地域を設定する必要があります。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
Step 1	デフォルトコーデック G.711 の設定 (6 ページ)	その他の地域へのコール用に G.711 コーデックを使用する地域を作成します。
Step 2	ページング用デバイスプールの設定 (7 ページ)	ページングのデバイスプールを設定し、そのデバイスプールに対して作成した地域を割り当てます。

デフォルトコーデック G.711 の設定

他の地域へのコールのデフォルトコーデックとして G.711 を使用する InformaCast 地域を作成する必要があります。

始める前に

[ページングに対応した SNMP の設定 \(4 ページ\)](#)

手順

-
- Step 1** [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[システム (System)] > [リージョン情報 (Region Information)] > [リージョン (Region)]。
 - Step 2** [新規追加] をクリックします。
 - Step 3** [名前 (Name)] フィールドに、**ICVA** と入力します。
 - Step 4** [保存 (Save)] をクリックします。
 - Step 5** [地域 (Regions)] テキストボックスで、[Ctrl] キーを押しながら選択した地域をすべてクリックすることで、すべての地域を選択します。
 - Step 6** From the **Maximum Audio Bit Rate** drop-down list, select **64 kbps (G.722, G.711)** .
 - Step 7** [ビデオコールの最大セッションビットレート (Maximum Session Bit Rate for Video Calls)] 列で、[なし (None)] オプション ボタンをクリックします。
 - Step 8** [保存 (Save)] をクリックします。
-

ページング用デバイス プールの設定

ページング導入用のデバイス プールを設定するには、この手順を実行します。

始める前に

[デフォルト コーデック G.711 の設定 \(6 ページ\)](#)

手順

-
- Step 1** [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[システム (System)] > [デバイス プール (Device Pool)]。
 - Step 2** [新規追加] をクリックします。
 - Step 3** [デバイス プール名 (Device Pool Name)] フィールドに、**ICVA** と入力します。
 - Step 4** [Cisco Unified Communications Manager グループ] ドロップダウン リストから、InformaCast 仮想アプライアンスが通信する Cisco Unified Communications Manager クラスタを含むグループを選択します。
 - Step 5** [日/時グループ (Date/Time Group)] ドロップダウン リストから、日/時グループを選択します。時刻によるダイヤル制限が実行されていない場合は、[CMLocal (CMLocal)] を選択します。
 - Step 6** [地域 (Region)] ドロップダウン リストから、[ICVA] を選択します。
 - Step 7** [SRST リファレンス (SRST Reference)] ドロップダウン リストから、[無効 (Disable)] を選択します。
 - Step 8** [保存 (Save)] をクリックします。
-

ページングのパーティションとコーリング サーチ スペースの設定

ページングのパーティションとコーリング サーチ スペース (CSS) を次のように設定するには、次の作業を実行します。

- 基本的なページングの導入では、InformaCast ページング用に単一パーティションと CSS を作成します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
Step 1	InformaCast ページングのルート パーティションの設定 (8 ページ)	InformaCast ページングのルート パーティションを設定します。
Step 2	InformaCast ページングのコーリング サーチ スペースの設定 (8 ページ)	InformaCast ページングのコーリング サーチ スペースを設定します。

InformaCast ページングのルートパーティションの設定

InformaCast ページングのルートパーティションを作成します。

始める前に

[ページング用デバイス プールの設定 \(7 ページ\)](#)

手順

-
- Step 1** [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[コールルーティング (Call Routing)] > [コントロールのクラス (Class of Control)] > [ルートパーティション (Route Partitions)]。
- Step 2** [新規追加] をクリックします。
- Step 3** [名前 (Name)] フィールドで、パーティション次の名前と説明を入力します。
ICVA-CTIOutbound, ICVA-Do not add to any phone CSS
- Step 4** [保存 (Save)] をクリックします。
-

InformaCast ページングのコーリングサーチスペースの設定

InformaCast ページングのコーリングサーチスペースを設定するには、次の手順を実行します。

手順

-
- Step 1** [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[コールルーティング (Call Routing)] > [コントロールのクラス (Class of Control)] > [コーリングサーチスペース (Calling Search Space)] を選択します。
- Step 2** [新規追加 (Add New)] をクリックします。
- Step 3** [名前 (Name)] フィールドに、**ICVA** と入力します。
- Step 4** [利用可能なパーティション (Available Partitions)] リストボックスから [選択されたパーティション (Selected Partitions)] リストボックスへ、矢印を使用して次のパーティションを移動させます。
- InformaCast ページングに作成したパーティション
 - ユーザの内線番号とアナログ ページングの内線番号を含むパーティション
- Step 5** [保存 (Save)] をクリックします。
-

ページングに対応した CTI ポートの設定

ページング導入のための CTI ポートを設定するには、次の手順を実行します。必要な CTI ポートの番号は、導入のタイプとアプリケーションの使用方法によって異なります。

- Basic Paging を導入するには、InformaCast ページング用に少なくとも 2 つの CTI ポートを作成する必要があります。

始める前に

[InformaCast ページングのコーリング サーチ スペースの設定 \(8 ページ\)](#)

手順

- Step 1** [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[デバイス (Device)] > [電話 (Phone)]。
- Step 2** [新規追加] をクリックします。
- Step 3** [電話のタイプ (Phone Type)] ドロップダウン リストから [CTI ポート (CTI Port)] を選択します。
- Step 4** [デバイス名 (Device Name)] フィールドに、CTI ポートの名前を入力しますたとえば、InformaCast ポートの場合には **ICVA-IC-001** と入力します。
- Step 5** [説明 (Description)] フィールドに、ポートの説明を入力します。たとえば、**InformaCast Recording Port for Call Monitoring** のように入力します。
- Step 6** [デバイス プール (Device Pool)] ドロップダウン リストから、[ICVA] を選択します。
- Step 7** [コーリング サーチ スペース (Calling Search Space)] ドロップダウン リストから [ICVA] を選択します。
- Step 8** [デバイスのセキュリティ プロファイル (Device Security Profile)] ドロップダウン リストから、[Cisco CTI ポート: 標準 SCCP 非セキュア プロファイル (Cisco CTI Port - Standard SCCP Non-Secure Profile)] を選択します。
- Step 9** [保存 (Save)] をクリックします。
- Step 10** [OK] をクリックします。
- Step 11** 左の関連付け領域で、[回線 [1] - 新規 DN を追加 (Line [1] - Add a new DN)] をクリックします。
- Step 12** [電話番号 (Directory Number)] フィールドに電話番号を入力します。この電話番号は、ページング コールの作成以外の目的には使用できません。電話に割り当てべきではなく、ダイヤルインの範囲内に含めるべきでもありません。
- Step 13** [ルートパーティション (Route Partition)] ドロップダウン リストから、次ののポートを選択します。
 - InformaCast には、[ICVA-CTIOutbound] を選択します。
- Step 14** [表示 (内部発信者ID) (Display (Internal Caller ID))] テキスト ボックスに、設定するポートのタイプに応じて **InformaCast** と入力します。

- Step 15** [ASCII表示（内部発信者ID）（ASCII Display（Internal Caller ID）]テキストボックスに、設定するポートのタイプに応じて **InformaCast** と入力します。
- Step 16** [保存（Save）]をクリックします。
- Step 17** 必要な CTI ポートごとに、この手順を繰り返します。
-

次のタスク

AXL アクセスを使うアクセスコントロールグループの設定

AXL アクセスを含むアクセスコントロールグループを作成するのに次の手順を実行します。

手順

- Step 1** [Cisco Unified CM 管理（Cisco Unified CM Administration）]から、以下を選択します。[ユーザ管理（User Management）]>[ユーザ設定（User Settings）]>[アクセスコントロールグループ（Access Control Group）]。
- Step 2** [新規追加]をクリックします。
- Step 3** [名前（Name）]テキストボックスに **ICVA ユーザ グループ**を入力します。
- Step 4** [保存（Save）]をクリックします。
- Step 5** [関連リンク（Related Links）]ドロップダウンリストから、[検索/一覧表示に戻る（Back to Find/List）]を選択し、[移動（Go）]をクリックします。
- Step 6** [権限（Roles）]欄で、新しいアクセスコントロールグループに対応する [i] アイコンをクリックします。
- Step 7** [グループに権限を割り当て（Assign Role to Group）]をクリックします。
- Step 8** [検索（Find）]をクリックします。
- Step 9** [標準 AXL API アクセス（Standard AXL API Access）]チェックボックスを選択し、[選択したものを追加（Add Selected）]をクリックします。
- Step 10** [保存（Save）]をクリックします。
-

ページングに対応したアプリケーションユーザの設定

に対応したアプリケーションユーザを設定するには、次の手順を実行します。

- Basic Paging の場合は、InformaCast アプリケーションユーザを設定します。

手順

-
- Step 1** [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[ユーザ管理 (User Management)] > [アプリケーション ユーザ (Application User)] を選択します。
- Step 2** [新規追加] をクリックします。
- Step 3** [ユーザ ID (User ID)] テキストボックスに、アプリケーション ユーザのユーザ ID を入力します。例: **ICVA InformaCast**。
- Step 4** [Password] および [Confirm Password] フィールドにパスワードを入力します。
- Step 5** [使用可能デバイス (Available Devices)] リストボックスで、導入のために作成した CTI ポートをクリックし、矢印を使用してデバイスを [制御デバイス (Controlled Devices)] リストボックスに移動します。たとえば、InformaCast の場合は [ICVA-IC-001]、CallAware の場合は [ICVA-CA-001] を選択します。
- Step 6** [アクセス コントロール グループに追加 (Add to Access Control Group)] をクリックします。
- Step 7** [検索 (Find)] をクリックします。
- Step 8** 以下のチェックボックスをオンにします (他に指示がない限り、すべてのアプリケーション ユーザに対してこれらのアクセス許可を選択します)。
- [ICVA ユーザ グループ (ICVA User Group)]
 - [標準 CTI によるすべてのデバイスの制御 (Standard CTI Allow Control of All Devices)]
 - [標準 CTI による Connected Xfer および設定をサポートする電話の制御の許可 (Standard CTI Allow Control of Phones supporting Connected Xfer and conf)]
 - [標準 CTI によるロールオーバー モードをサポートする電話の制御の許可 (Standard CTI Allow Control of Phones supporting Rollover Mode)]
 - 標準 CTI 対応
- Step 9** [選択項目の追加 (Add Selected)] をクリックします。
- Step 10** [保存 (Save)] をクリックします。
-

電話機での Web アクセス有効化

Cisco Unified IP Phone の Web アクセスを有効にするには、Basic Paging で次の手順を実行します。また、プロファイルを使用した電話のグループの Web アクセスを有効にするには、共通の電話プロファイルを使用することもできます。詳細は、[共通の電話プロファイルでの Web アクセスの有効化 \(12 ページ\)](#) を参照してください。

始める前に

[ページングに対応したアプリケーション ユーザの設定 \(10 ページ\)](#)

手順

-
- Step 1** [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[デバイス (Device)] > [電話 (Phone)]。
 - Step 2** [検索 (Find)] をクリックして、Web アクセスを有効にする電話を選択します。
 - Step 3** [製品固有の設定レイアウト (Product Specific Configuration Layout)] エリアで、[Web アクセス (Web Access)] ドロップダウンリストから [有効化 (Enable)] を選択します。
 - Step 4** [保存 (Save)] をクリックします。
-

次のタスク

[認証 URL の設定 \(13 ページ\)](#)

共通の電話プロフィールでの Web アクセスの有効化

共通の電話プロフィールを使用する Cisco Unified IP Phone のグループに Web アクセスを許可するには、Basic Paging ので、この手順を実行します。また、個々の電話機の Web アクセスを有効にすることもできます。詳細は、[電話機での Web アクセス有効化 \(11 ページ\)](#) を参照してください。

始める前に

[ページングに対応したアプリケーションユーザの設定 \(10 ページ\)](#)

手順

-
- Step 1** [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。1 [デバイス (Device)] > [デバイスの設定 (Device Settings)] > [共通の電話プロフィール (Common Phone Profile)]。
 - Step 2** [検索 (Find)] をクリックして、Web アクセスを有効にする電話機のグループに適用するプロフィールを選択します。
 - Step 3** [製品固有の設定レイアウト (Product Specific Configuration Layout)] エリアで、[Web アクセス (Web Access)] ドロップダウンリストから [有効化 (Enable)] を選択します。
 - Step 4** [保存 (Save)] をクリックします。
 - Step 5** [設定を適用 (Apply Config)] をクリックして、共通の電話プロフィールを使用する電話機をリセットします。
 - Step 6** [OK] をクリックします。
-

次のタスク

[認証 URL の設定 \(13 ページ\)](#)

エンタープライズ電話の Web アクセス有効化設定

Unified Communications Manager で次の手順を実行して、共通の電話プロファイルを使用する Cisco Unified IP Phone のグループについて Web アクセスを有効にします。また、個々の電話機の Web アクセスを有効にすることもできます。詳細については、[電話機での Web アクセス有効化 \(11 ページ\)](#) を参照してください。

始める前に

[ページングに対応したアプリケーション ユーザの設定 \(10 ページ\)](#)。

手順

-
- Step 1** [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[システム (System)] > [エンタープライズ電話の設定 (Enterprise Phone Configuration)]。
 - Step 2** [Webアクセス (Web Access)] ドロップダウンリストから、[有効 (Enable)] を選択します。
 - Step 3** [保存 (Save)] をクリックします。
 - Step 4** [設定を適用 (Apply Config)] をクリックして、共通の電話プロファイルを使用する電話機をリセットします。
 - Step 5** [OK] をクリックします。
-

認証 URL の設定

次のタスクを実行して、InformaCast を指す認証 URL を設定して、InformaCast がブロードキャストを Cisco Unified IP Phones にプッシュしたとき、電話が Unified Communications Manager ではなく InformaCast を認証するようにします。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
Step 1	認証 URL の設定 (14 ページ)	InformaCast を指すように、Unified Communications Manager の認証 URL を設定します。
Step 2	電話のリセット (14 ページ)	電話機が新しい設定を使用するように導入中の電話機をリセットします。
Step 3	電話のテスト (15 ページ)	導入中の電話機が新しい認証 URL の設定を使用することを確認します。

認証 URL の設定

次の手順を実行して、Unified Communications Manager の認証 URL が InformaCast 仮想アプライアンスを指すように設定します。

手順

-
- Step 1** [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[システム (System)] > [エンタープライズ パラメータ (Enterprise parameters)]。
- Step 2** [電話 URL パラメータ (Phone URL Parameters)] エリアにスクロールし、[URL 認証 (URL Authentication)] フィールドに **http://<IP アドレス>:8081/InformaCast/phone/auth** と入力します。ここで <IP アドレス> は InformaCast 仮想アプライアンスの IP アドレスです。
- (注) [URL 認証 (URL Authentication)] フィールドの既存の URL をメモします。InformaCast の設定時に必要になる場合があります。詳細については InformaCast のマニュアルを参照してください。
- Step 3** [安全な電話 URL パラメータ (Secured Phone URL Parameters)] エリアにスクロールし、[安全な認証 URL (Secured Authentication URL)] フィールドに **http://<IP アドレス>:8081/InformaCast/phone/auth** と入力します。ここで <IP アドレス> は InformaCast 仮想アプライアンスの IP アドレスです。
- Step 4** [保存 (Save)] をクリックします。
-

電話のリセット

InformaCast 仮想アプライアンスをポイントするように認証 URL を設定した後、電話をリセットする必要があります。この手順では、デバイスプールの電話を手動でリセットする方法について説明します。電話をリセットする多くの方法があります。たとえば、一括管理ツールを使用して、業務時間外にリセットを実施するようスケジュール設定できます。一括管理ツールの詳細については、『Cisco Unified Communications Manager Bulk Administration Guide』を参照してください。

手順

-
- Step 1** [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[デバイス (Device)] > [電話 (Phone)]。
- Step 2** [電話の場所 (From Phone Where)] ボックスで、[デバイスプール (Device Pool)] を選択します。
- Step 3** 他のドロップダウンメニューとフィールド項目を、使用中の電話を含むデバイスプールを立ち上げる設定にします。
- Step 4** [検索 (Find)] をクリックします。
- Step 5** リセットするデバイスプールを選択します。
- Step 6** [選択したアイテムのリセット (Reset Selected)] をクリックします。

Step 7 [リセット (Reset)] をクリックします。

電話のテスト

電話機が InformaCast 仮想アプライアンスで認証されていることを確認します。

手順

- Step 1** [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[デバイス (Device)] > [電話 (Phone)]。
- Step 2** [電話の検索と一覧表示 (Find and List Phones)] ウィンドウのドロップダウンメニューとフィールドを使用して、新しい認証 URL を使用する必要がある電話機の検索をフィルタリングし、[検索 (Find)] をクリックします。
- Step 3** 新しい設定を使用する必要がある電話機に関して、[IPv4 アドレス (IPv4 Address)] 列の [IP アドレス (IP Address)] リンクをクリックします。
- Step 4** [ネットワーク構成 (Network Configuration)] をクリックします。
[ネットワーク構成 (Network Configuration)] ページが表示されます。
- Step 5** [認証 URL (Authentication URL)] フィールドに、[URL 認証 (URL Authentication)] エンタープライズパラメータに関して入力した InformaCast 仮想アプライアンスの IP アドレスが表示されていることを確認します。正しい URL が表示されない場合は、認証 URL を設定する必要があります。

Advanced Notification ページングの設定タスク フロー

次のタスクを実行して、InformaCast Paging Server を Unified Communications Manager と統合し、IP ページングおよび緊急コールアラートを行います。このツールには次の機能があります。

- InformaCast による事前通知
- パニック ボタンの構成
- ユーザが緊急サービス番号 (CallAware) にダイヤルしたときの IP フォンのテキスト通知と音声通知

手順

	コマンドまたはアクション	目的
Step 1	InformaCast 仮想アプライアンスのインストール (16 ページ) 。	Singlewire Web サイトから InformaCast OVA ファイルをダウンロードし、vSphere にアップロードします。

	コマンドまたはアクション	目的
Step 2	InformaCast への接続の設定（18 ページ）。	Unified Communications Manager と InformaCast を設定します。
Step 3	パニック ボタンの設定（20 ページ）。	パニック ボタンを設定して、IP 電話にテキストおよび音声通知を送信します。
Step 4	CallAware 緊急通報アラートの設定（22 ページ）。	緊急通報のテキストと音声の通知を設定します。

InformaCast 仮想アプライアンスのインストール

Singlewire では、vSphere クライアントを介して管理されている VMware ESXi プラットフォーム上で InformaCast 仮想アプライアンスを実行できます。



- (注) Singlewire 対応の VMware ESXi バージョンの一覧を表示するには、URL <https://www.singlewire.com/compatibility-matrix> にアクセスして、InformaCast プラットフォームセクションの下にある [サーバプラットフォーム (Server Platforms)] リンクをクリックします。



- (注) ライセンスを購入済みの場合は、<https://www.singlewire.com/icva-kb-activate> を参照して、ライセンス認証をアクティブ化します。これにより、90 日間の試用期間後も、緊急通知がアクティブなまま維持されます。



- (注) インストールの詳細 (InformaCast 画面キャプチャを含む) については、URL <https://www.singlewire.com/icva-kb-install> にアクセスしてください。

始める前に

vSphere クライアントを使用して InformaCast 仮想アプライアンスをインポートします。このクライアントは、VMware サーバからダウンロードできます。

手順

- Step 1** OVA ファイルを [Singlewire](#) ウェブサイトからダウンロードして、vSphere クライアントにログインします。

- (注) Communications Manager Business Edition 6000 上で InformaCast を使用する場合は、OVA を伴うパッケージが DVD で提供されます (物理メディア)。

[vSphere Client] ウィンドウが表示されます。

- Step 2** [vSphere クライアント (vSphere Client)] ウィンドウで、[ファイル (File)] > [OVF テンプレートの展開 (Deploy OVF Template)] を選択します。
[OVF テンプレートの展開 (Deploy OVF Template)] ダイアログ ボックスが表示されます。
- Step 3** [ファイルから展開 (Deploy from File)] ラジオ ボタンをクリックし、[参照 (Browse)] をクリックして、保存されている OVA ファイル (または付属の DVD に収録されている OVA ファイル) を選択します。OVA ファイルを選択したら、[開く (Open)] をクリックします。
[OVF テンプレートの展開 (Deploy OVF Template)] ダイアログ ボックスで、[送信元 (Source)] の場所が選択されています。
- Step 4** [次へ (Next)] をクリックして次に進みます。
[OVF テンプレートの展開 (Deploy OVF Template)] ダイアログ ボックスが更新され、[OVF テンプレートの詳細 (OVF Template Details)] が表示されます。
- Step 5** [次へ (Next)] をクリックして [名前と場所 (Name and Location)] を確認し、[次へ (Next)] をクリックして、新規の仮想マシン ファイルを格納するネットワークを選択します。
- ヒント Cisco Unified Communications Manager と同じ VLAN 上に仮想アプライアンスを配置することをお勧めします。
- Step 6** [次へ (Next)] をクリックして、[完了 (Finish)] をクリックします。
InformaCast 仮想アプライアンスがインポートを開始します。
- Step 7** [vSphere クライアント (vSphere Client)] ウィンドウで、[ホストとクラスタ (Hosts and Clusters)] アイコンをクリックして、ホスト サーバを選択します。
[vSphere クライアント (vSphere Client)] ウィンドウが更新されます。
- Step 8** [構成 (Configuration)] タブをクリックして、[ソフトウェア (Software)] セクションで [仮想マシンの起動/シャット ダウン (Virtual Machine Startup/Shutdown)] リンクを選択します。
- Step 9** [プロパティ (Properties)] リンクをクリックします。
[仮想マシンの起動/シャット ダウン (Virtual Machine Startup/Shutdown)] ダイアログ ボックスが表示されます。
- Step 10** [システム設定 (System Settings)] で [システムで仮想マシンの起動および停止を自動的に行う (Allow virtual machines to start and stop automatically with the system)] チェックボックスをオンにします。
- Step 11** [スタートアップ順序 (Startup Order)] で、[手動スタートアップ (Manual Startup)] セクションまでスクロールし、仮想マシン (デフォルトでは Singlewire InformaCast VM) を選択してから、その仮想マシンを [上へ移動 (Move Up)] ボタンを使用して [手動スタートアップ (Manual Startup)] セクションから [自動スタートアップ (Automatic Startup)] セクションまで移動します。移動したら [OK] をクリックします。
InformaCast 仮想アプライアンスが、ホストされているサーバ上で自動的に起動または停止するようになります。次に、InformaCast の仮想マシンをオンにし、そのネットワーク構成を設定します。
- Step 12** [表示 (View)] > [一覧 (Inventory)] > [VM とテンプレート (VMs and Templates)] を選択し、仮想マシンを選択します。
- Step 13** [一覧 (Inventory)] > [仮想マシン (Virtual Machine)] > [コンソールを開く (Open Console)] を選択します。

Singlewire InformaCast VM コンソール ウィンドウが表示されます。

Step 14 InformaCast の初回の構成が開始されます。この構成中は、InformaCast 仮想アプライアンスに関する次のタスクを実行します。

- a) シスコ エンドユーザ ライセンス契約 (EULA) に同意する
- b) Singlewire EULA に同意する
- c) ホスト名を設定する
- d) IP アドレス、サブネット マスク、およびデフォルト ゲートウェイを設定する
- e) DNS サーバの IP アドレスとドメイン名を設定する
- f) NTP サーバの IP アドレスまたはホスト名を設定する
- g) タイムゾーンを設定する
- h) セキュア ソケット レイヤ (SSL) 証明書パラメーターを設定する
- i) SSL サブジェクト代替名を設定する (省略可)
- j) OS の管理者パスワードを設定する
- k) InformaCast および PTT (プッシュトゥトーク) の管理者パスワードを設定する。このパスワードは、[Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] の [拡張機能 (Advanced Features)] > [緊急通知ページング (Emergency Notifications Paging)] で、Cisco Unified Communications Manager と InformaCast を接続する際に必要です。
- l) バックアップと通信のセキュリティ パスフレーズの設定

構成が成功すると、[Singlewire InformaCast へようこそ (Welcome to Singlewire InformaCast)] 「」メッセージが表示されます。

Step 15 [続行 (Continue)] をクリックして、Singlewire InformaCast の使用を開始します。

InformaCast への接続の設定

この手順を使用して、Unified Communications Manager Tomcat 信頼ストアに InformaCast 証明書をロードします。

始める前に

[InformaCast 仮想アプライアンスのインストール \(16 ページ\)](#)。

手順

Step 1 [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[高度な機能 (Advanced Features)] > [緊急通知ページング (Emergency Notifications Paging)]。

Step 2 [InformaCast 緊急通知の入門 (Introduction to InformaCast Emergency Notifications)] ページで、[次へ (Next)] をクリックして続行します。
[InformaCast 仮想アプライアンスのインストール (Installing the InformaCast Virtual Appliance)] ページが表示されます。

- Step 3** [InformaCast仮想アプライアンスのインストール (Installing the InformaCast Virtual Appliance)] ページで、[次へ (Next)] をクリックして続行します。
- (注) Unified Communications Manager を使用して設定するには、InformaCast 仮想アプライアンスを正常にインストールしておく必要があります。
- [Cisco Unified Communications Manager と InformaCast の接続 (Connecting Cisco Unified Communications Manager and InformaCast)] ページが表示されます。
- Step 4** [InformaCast VM の IP アドレス (IP address of InformaCast VM)] フィールドに、IP アドレスまたはホスト名を入力します。
- (注) デフォルトでは、ユーザ名は [InformaCast で使用するユーザ名 (Username to use in InformaCast)] に admin として記載されており、編集することはできません。
- Step 5** [管理アプリケーションユーザのパスワード (Password for admin app user)] フィールドに、InformaCast アプリケーションの管理者パスワードを入力します。
InformaCast 証明書のサムプリントを表示したダイアログボックスが表示されます。
- Step 6** [OK] をクリックして、Unified Communications Manager Tomcat 信頼ストアに InformaCast 証明書をロードします。
構成プロセスが開始します。
- (注) 設定が成功すると、[ステータス (Status)] フィールドに完了ステータスが表示されます。
- Step 7** [次へ (Next)] をクリックします。
ウィザードは次のタスクを実行します。
- SNMP サービスのアクティブ化
 - ローカルで生成されたランダム クレデンシャルを使用した SNMP サービスの設定
 - CTI マネージャ サービスのアクティブ化
 - マルチ Unified Communications Manager キャストを設定します。
 - 新しい領域の作成 (1 クラスタあたり 1 つ)
 - 新しいデバイス プールの作成 (1 クラスタあたり 1 つ)
 - SIP トランクの作成 (1 クラスタあたり 1 つ)
 - ルート グループの作成 (1 クラスタあたり 1 つ)
 - ルート リストの作成
 - ロールの作成
 - アプリケーション ユーザの作成
 - のために、このを設定します。Unified Communications Manager
 - クラスタの作成

- 受信者グループの更新
- SIP アクセスを拒否に設定
- SIP アクセスの作成

パニック ボタンの設定

この手順を使用してパニック ボタンを設定し、IP 電話にテキストおよび音声通知を送信します。これにより、緊急時にワンクリック アラームを開始することができます。

始める前に

[InformaCast への接続の設定 \(18 ページ\)](#)。

手順

-
- Step 1** [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[高度な機能 (Advanced Features)] > [緊急通知ページング (Emergency Notifications Paging)]。
- Step 2** [InformaCast 緊急通知の入門 (Introduction to InformaCast Emergency Notifications)] ページで、[次へ (Next)] をクリックして続行します。
- Step 3** [InformaCast 仮想アプライアンスのインストール (Installing the InformaCast Virtual Appliance)] ページで、[次へ (Next)] をクリックして続行します。
- Step 4** [Cisco Unified Communications Manager と InformaCast の接続 (Connecting Cisco Unified Communications Manager and InformaCast)] ページで、[次へ (Next)] をクリックして続行します。[パニックボタンの設定 (Configuring a Panic Button)] ページが表示されます。
- Step 5** [名前ですべて事前録音されたメッセージを選択 (Choose pre-recorded message by name)] ドロップダウンリストから、緊急時に Cisco Unified IP 電話およびさまざまなデバイスとシステムに表示される事前録音済みメッセージを選択します。
- (注) InformaCast の管理で、必要に応じて事前に録音されたメッセージを変更できます。
- Step 6** [パニックボタンをトリガーするDNの入力 (Enter DN to trigger the panic button)] フィールドに、0～9の数字、アスタリスク (*) およびシャープ記号 (#) を含む電話番号 (DN) を入力します。デフォルト値は ***5 です。
- Step 7** [ルートパーティション (Route Partition)] ドロップダウンリストから、ルート パターンへのアクセスを制限するパーティションを選択します。
- (注) ルート パターンへのアクセスを制限しない場合、パーティションに対して [<なし> (<None>)] を選択します。
- Step 8** [通知を送信する電話機を選択 (Choose Phones to Send Notification)] ボタンをクリックします。

[通知を送信する電話機 (Phones to Send Notification)] ダイアログボックスが表示されます。

Step 9 [通知を送信する電話機 (Phones to Send Notification)] ダイアログボックスで、事前に録音されたメッセージを送信する Cisco Unified IP 電話を選択します。ユーザが入力したダイヤルパターン (たとえば、***5) は、選択した電話に短縮ダイヤルとして設定されます。

選択した Cisco Unified IP Phone は、[通知の送信に選択された電話機 (Selected Phones to Send Notification)] リストボックスに表示されます。

Step 10 [ルールの追加 (Add Rules)] をクリックして、選択した Cisco Unified IP Phone が通知を受信するための新しいルールを作成します。

a) ドロップダウンリストから、いずれかのパラメータを選択します。使用可能なオプションは、[デバイスプール (Device Pool)]、[説明 (Description)] および [電話番号 (Directory Number)] です。

b) 2 番目のドロップダウン リストで、次のオプションの中から条件を選択します。

- 次をする (Does)
- 次をしない (Does not)

c) 3 番目のドロップダウン リストで、次のオプションの中から条件を選択します。

- 次の文字列で始まる (Begins With)
- 次の文字列で終わる (Ends With)
- 記載内容

d) テキスト ボックスに、検索条件を入力します。

(注) 少なくとも 1 つの新しいルール、最大で 5 つの新しいルールを作成できます。5 つのルールが作成されると、[ルールの追加 (Add Rules)] ボタンが無効になります。

(注) ルールを削除するには、[ルールの削除 (Delete Rules)] をクリックします。

e) 作成したルールを検証するには、[ルールのテスト (Test Rules)] をクリックします。1 つ以上の電話でルールの検証が完了すると、[次へ (Next)] ボタンが有効になります。

(注) このルールに一致し、Cisco Unified Communications Manager に後で追加された電話機は、このグループへの通知の受信者として含まれます。

Step 11 [次へ (Next)] をクリックします。

ウィザードは次のタスクを実行します。

- 選択された電話機に、入力された DN の短縮ダイヤルを追加します。選択された電話機に既存の電話ボタン テンプレートに割り当てられている未使用の短縮ダイヤルがある場合、この短縮ダイヤルは選択された電話機に直接表示されます。選択された電話機に未使用の短縮ダイヤル ボタンがない場合は、パニック ボタン短縮ダイヤルが作成されますが、電話機には表示されません。

- 作成されたルートリストを使用して、選択されたパーティションに入力された DN のルートパターンを追加します。
- 選択されたルールに一致する電話機に選択されたメッセージを送信するために、入力された DN の InformaCast DialCast エントリを作成します。

CallAware 緊急通報アラートの設定

この手順を使用して、CallAware 緊急通報アラートの詳細を設定します。これにより、緊急電話番号がダイヤルされたときに、テキストと音声の通知が IP フォンに送信されます。また、911 以外の番号へのコールを検出することもできます。

始める前に

[パニック ボタンの設定 \(20 ページ\)](#)。

手順

-
- Step 1** [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[高度な機能 (Advanced Features)] > [緊急通知ページング (Emergency Notifications Paging)]。
- Step 2** [InformaCast 緊急通知の入門 (Introduction to InformaCast Emergency Notifications)] ページで、[次へ (Next)] をクリックして続行します。
- Step 3** [InformaCast 仮想アプライアンスのインストール (Installing the InformaCast Virtual Appliance)] ページで、[次へ (Next)] をクリックして続行します。
- Step 4** [Cisco Unified Communications Manager と InformaCast の接続 (Connecting Cisco Unified Communications Manager and InformaCast)] ページで、[次へ (Next)] をクリックして続行します。
- Step 5** [パニックボタンの設定 (Configuring a Panic Button)] ページで、[次へ (Next)] をクリックして続行します。
[CallAware 緊急通報アラートの設定 (Configuring CallAware Emergency Call Alerting)] ページが表示されます。
- Step 6** [名前です前録音されたメッセージを選択 (Choose pre-recorded message by name)] ドロップダウンリストから、緊急時に Cisco Unified IP 電話およびさまざまなデバイスとシステムに表示される事前録音済みメッセージを選択します。
- (注) InformaCast の管理で、必要に応じて事前に録音されたメッセージを変更できます。
- Step 7** [緊急ルートパターンの選択 (Choose Emergency Route Patterns)] ボタンをクリックします。
[ルートパターン (Route Patterns)] ダイアログボックスが表示されます。
- Step 8** [ルートパターン (Route Patterns)] ダイアログボックスで、目的のパターンの横にあるボックスをオンにすることによってルートパターンを選択します。
- a) [選択/変更の保存 (Save Selected/Changes)] ボタンをクリックします。

選択したルート パターンが [選択されたルートパターン (Selected Route Patterns)] リスト ボックスに表示されます。

Step 9

[**ルールの追加 (Add Rules)**] をクリックして、選択した Cisco Unified IP Phone が通知を受信するための新しいルールを作成します。

- a) ドロップダウンリストから、いずれかのパラメータを選択します。使用可能なオプションは、[デバイスプール (Device Pool)]、[説明 (Description)] および [電話番号 (Directory Number)] です。
- b) 2 番目のドロップダウン リストで、次のオプションの中から条件を選択します。
 - 次をする (Does)
 - 次をしない (Does not)
- c) 3 番目のドロップダウン リストで、次のオプションの中から条件を選択します。
 - 次の文字列で始まる (Begins With)
 - 次の文字列で終わる (Ends With)
 - 記載内容
- d) テキスト ボックスに、検索条件を入力します。

(注) 少なくとも 1 つの新しいルール、最大で 5 つの新しいルールを作成できます。5 つのルールが作成されると、[ルールの追加 (Add Rules)] ボタンが無効になります。

(注) ルールを削除するには、[**ルールの削除 (Delete Rules)**] をクリックします。
- e) 作成したルールを検証するには、[**ルールのテスト (Test Rules)**] をクリックします。1 つ以上の電話でルールの検証が完了すると、[完了 (Finish)] ボタンが有効になります。

(注) このルールに一致し、Unified Communications Manager に後で追加された電話機は、このグループへの通知の受信者に含まれます。

Step 10

[**終了 (Finish)**] をクリックします。

ウィザードは次のタスクを実行します。

- InformaCast 用の外部コール制御プロファイルを追加します
- 選択されたルート パターンごとに、外部コール制御プロファイルを参照するようにそのルート パターンを変更します
- 通知を受信する電話機と一致するルールを持つ受信者グループを作成します
- 選択されたメッセージと受信者グループを含む InformaCast ルーティング要求を作成します

[概要 (Summary)] ページが表示されるので、InformaCast が Unified Communications Manager を使用して正しく設定されていることを確認します。詳細については、<https://www.singlewire.com> を参照してください。

ページングの連携動作

- [Advanced Notification ページングの連携動作 \(24 ページ\)](#)

Advanced Notification ページングの連携動作

表 1: *Advanced Notification* ページングの連携動作

機能	連携動作
緊急通知ページング	<p>緊急通知ページング ウィザードは、InformaCast リリース 11.5(1)SU3 以降のバージョンを使用して基本ページングモードでのみ設定できます。</p> <p>緊急通知ページング ウィザードでのみ数字を含むパターンをルーティングするようにコールモニタリングを設定できます。ワイルドカード文字を含むルートパターンの場合は、InformaCast で設定します。</p>

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。